

# 円満

円満というと、何が浮かびますか。家庭円満、円満に解決、のように日常



でも用いられる言葉です。この場合の円満は、満ち足りている、角が無い、穏やか、の意味があります。

では仏教の方と言いますと、成就したと、完成したと、完全に具足した、という意味で用います。

仏の願いが成就し完成し、慈悲と智慧が具足したことを「円満」といいます。浄土真宗の本尊阿弥陀如来は四十八願、釈迦如来は五百願、薬師如来は十二願。あなたをすくいたいと願を立て行を修め仏にられました。

円満には大事な言葉があります。自利他円満です。親鸞聖人は説明されました。「自利は阿弥陀の仏になりたまひたるころ、利他は衆生を往生せしむるころ、円は善悪すべてわかず、よきことになしてましますころの満ちたるころなり。みづからも仏になり、衆生も仏になることを円満すといふなり」



私も仏となって、すくうべき人も仏に成る。最近の時代の流れは、自分さえよければいい、という考えです。あなたも私も満ちることが円満の本当の意味です。

原住民は、「みんなのものだ」と喜んで差し出した。それを奪った英雄コロンブス

## こんなところに 仏教用語

身近な仏教用語を紹介しています。

# 厭離

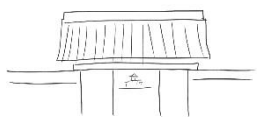
厭離…この煩惱の世、迷いの世を厭い離れること  
厭離穢土・欣求浄土（極楽）



往生を願う）として、浄土教で用いられることが多いです。徳川家康の旗印としても有名な言葉ですが、そのエピソードを詳しく紹介します。

桶狭間の戦いで今川義元が討たれた。今川方であった家康は、退却をするものの付き従うもの十八名。もはやこれまでと先祖の墓まで逃げ切腹をしようとするそのとき、大樹寺住職登誉が、「大檀家の難を放っておかん。あなたの命を守ろう。」と寺の守備を固め、

「厭離穢土欣求浄土の旗を用いなさい。そなたは何故戦をするのか。人を殺すためか」「その通りです」「なぜ人を殺すのか」「天下を治めるためです」「なぜ天下を取るのか」「名を残し子孫繁栄の為です」「そうして天下を取っても、恨みは残り子孫を滅ぼすぞ。一時の繁栄にすぎぬ。」



と、この迷いの世を厭い、阿弥陀如来の浄土を願い、阿弥陀如来の願いの中で生きよと説いたのです。